

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	21世紀子ども放課後環境教育プロジェクト		事業開始年度	平成20年度	作成責任者	
担当部局庁	総合環境政策局		担当課室	環境経済課環境教育推進室	環境教育室長 岡本光之	
会計区分	一般会計		上位政策	環境・経済・社会の統合的向上		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	文部科学省と厚生労働省が推進する「放課後子どもプラン」(全ての小学校区で放課後の子ども達の安全で健やかな活動場所、学習機会を確保する総合的な放課後対策)のうち、文部科学省が実施している「放課後子ども教室」と連携し、対象児童の在席学年を問わない環境教育プログラムを活用した環境教育を推進することで、次代を担う子ども達に環境教育・学習の場や機会を提供し、持続可能な地域社会の構築や人材育成を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育プログラムの作成・配布 短時間であらゆる学年の児童が環境課題に気付き、楽しみながら環境を学ぶことができる環境教育プログラムキットを作成し、全国約200箇所の市町村・教育委員会に配布する。 環境教育プログラムキットを活用したモデル教室の実施 文部科学省が実施する「放課後子どもプラン」と連携し、本プログラムキットを活用したモデル教室を全国約100か所を実施する。実施にあたっては環境教育に精通した「環境カウンセラー」等を派遣する。 指導者等研修の実施 「放課後子どもプラン」に関わる地方自治体、教育関係者、安全管理員、学習アドバイザー等を対象として、本プログラムを活用したモデル教室の実施手法等について事前研修を実施する。 					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育プログラムキットの作成・配布(平成20・21年度までの実績) 420セットを作成 モデル教室の応募・選定及び環境カウンセラーの派遣(平成20・21年度までの実績) 207自治体、432の放課後子ども教室より応募があり、地域性や放課後子ども教室の設置状況などを考慮して、191自治体、239の放課後子ども教室を選定し、環境教育プログラムキットを活用したモデル教室を実施した。 さらに環境カウンセラーについては、39自治体、75の放課後子ども教室に派遣をした。 指導者等研修の実施(平成20・21年度までの実績) 研修を計19回実施し、約780名が参加した。 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	28	25	25	
	執行額	—	26	19		
	執行率	—	92.8%	76.0%		
	総事業費(執行ベース)	—	26	19		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<p>事業実施等の状況把握については、請負者等との間で、電話や電子メール等で連絡するとともに定期的に打合せ会議を行い、常に事業の進捗状況や達成状況を確認している。具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境プログラムキットの内容検討、応募自治体からのモデル教室の選定、環境カウンセラー派遣にかかる連絡状況の把握等のため随時の打合せ会議を開催 モデル教室実施の際には、必要に応じて職員が現地出張し、事業内容の把握 自治体の担当者や派遣された環境カウンセラーに対して事業アンケートを行い、環境教育プログラムキットの活用状況や実施体制を把握 等を行っている。 				
	見直しの余地	自治体の担当者や派遣された環境カウンセラーに対して行った事業アンケート結果を基に、今後、多くの「放課後子ども教室」等で取り組んでもらえるように、より活用しやすい方策を検討していく。				
予算・監視の所見率化						
補記						

環境省
19百万円

事業の委託元であり、平成21年度21世紀子ども放課後環境教育プロジェクトとして発生する一切の事務等の全体統括を行う

【総合評価入札・請負】

A.株式会社三菱総合研究所
19百万円

【業務内容】

- ・環境教育プログラムの作成・配布
環境教育プログラム(6種類)を作成し、全国約200箇所の教室等に配布
- ・モデル教室の実施
本プログラムを活用したモデル教室を全国約100か所で実施するため、モデル教室の応募・選定を行い、実際に授業を実施するために学校や自治体の教育委員会等と連絡調整
さらに、「環境カウンセラー」をモデル教室の指導者として派遣するための連絡調整
- ・指導者等研修の実施
「放課後子どもプラン」に関わる地方自治体、教育関係者、安全管理員、学習アドバイザー等を対象として、本プログラムを活用したモデル教室の実施手法等について事前研修の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.株式会社三菱総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	21世紀子ども放課後環境教育プロジェクト事業費	19			
計		19	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0